

令和最初の新年

あけましておめでとうござ  
います。

市民の皆さま方におかれ  
ましては、ご健勝にて清々し  
い初春をお迎えのことと思  
います。

昨年4月14日以降、活発な  
火山活動が続く阿蘇中岳第一  
火口は、今なお小規模な噴火  
が続いています。火山活動は、  
福岡管区気象台、京都大学阿  
蘇火山研究センターにおい  
て、24時間の監視体制が敷か  
れており、変化があれば本市  
と連携し、即刻対応が取れる  
体制を整えています。引き続  
き、気を緩めることなく住民  
の皆さまの安心安全を第一に  
全力で取り組むと同時に、一  
日も早い沈静化を願っている  
ところです。

さて、昨年を振り返ります  
と、国道57号現道とJＲ豊肥  
本線が、2020年度中に開  
通する見通しとなったこと  
は、阿蘇地域にとって格別の  
明るいニュースでありまし  
た。国道57号北側復旧ルート、  
新阿蘇大橋の開通と併せて、

復興への大きな弾みとなり、  
さらなる発展が期待され、未  
来への希望が持てるものであ  
ります。

また、昨年3月に長年の悲  
願であった阿蘇山直轄砂防事  
業が決定し、工事の着手式が  
行われました。土砂災害から  
地域の暮らしを守り、安心安  
全を確かなものにするために  
阿蘇外輪山内で当面約25カ所  
の砂防ダムの建設が行われ  
る計画であり、既に工事が始  
まっています。

農業においては、被災した  
農地は震災前の状態に戻り営  
農活動が再開されましたが、  
昨年の阿蘇地域の米の作況指  
数は、日照不足等の影響もあ  
り「91」と県内で最も低く、深  
刻な状況となっています。農  
地集積や集落営農組織の法人  
化に取り組むなど、関係機関  
とも連携しながら農業生産力  
と農家所得の向上につながる  
よう努めてまいります。

観光においては、震災から  
の復興を新しい時代に向け  
た転換期と捉え、官民一体と  
なって阿蘇山上一帯の魅力向

上と上質化を図るなど、受け  
入れ体制の整備を進めていま  
す。また、東京2020オリン  
ピック聖火リレールートの一  
つに本市が選ばれたこと、交  
通アクセスが格段に改善され  
ることも見据え、広域連携に  
よる周遊ルートの確立や滞在  
交流型観光への転換などを進  
めながら、国内外からの誘客  
に努めてまいります。

なお本年は、被災された  
方々が早く安心した生活を  
送れるよう生活再建に必要  
な災害公営住宅の残る2団  
地の完成、波野保育園園舎の  
建設工事や市内全小中学校  
教室へのエアコン設置工事  
の完了、さらには、18歳まで  
の子どもたちに係る医療費  
が無償化になります。

今後も引き続き、より安心  
安全で災害に強く、快適なま  
ちづくりを目指し、スピード  
感をもって完全復興への歩み  
を確実に進めてまいります。

そして、皇室行事で収穫を  
祝い五穀豊穡を祈願する新  
嘗祭に、本市から米と粟を奉  
献することが決定していま

す。令和の新しい年に本市か  
ら献穀できますことは、震災  
から復興し、飛躍・躍進する  
年であると実感するもので  
あります。発展的な進化を遂  
げられるよう市民一丸とな  
り、まさに市の総力を挙げて  
取り組む大切な一年です。市  
民各位のなお一層のご支援

とご協力を賜りますようお  
願い申し上げます。

結びに、これまで皆さまと  
ともに築いてきた阿蘇市が  
笑顔あふれ、希望に満ちた輝  
かしい一年となりますこと  
を心から祈念し年頭の挨拶  
といたします。

阿蘇市長

佐藤 義興



# 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。  
令和2年の年頭にあたり、

市議会を代表しまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまには、輝かしい新春をご家族の方々とともに健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から本市の市政運営並びに議会活動に対しまして、皆さま方の温かいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本国内も、新しい令和の時代へと移り、希望に満ちた新春を迎えました。本年は「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催され、国内外の様々な人々との交流も盛んに行われ、活気に満ちた1年になることをすべての人々が期待しているところでもあります。

さて、阿蘇市においては、「熊本地震」からの復旧復興も佳境を迎えようとしています。市民の生活に欠かすことのできない国道57号やJR豊肥本線も令和2年度中の開通が見込まれ、皆さまの

切なる願いを実現する時がようやく訪れるものと確信しています。

また、阿蘇中岳第一火口は、昨年4月の噴火以降、依然として火山活動が継続し、市内を覆う多量の火山灰により、市民生活への影響が心配されております。一日も早く以前のような安心で安全な阿蘇に戻るよう念願するものであります。

議会としましては、議員一人ひとりが研鑽を重ね、市民の皆さまの声をしっかりと受け取りし、行政とともに議論を重ね、英知を結集して、様々な課題解決に努めなければならぬと決意を新たに致したところです。

本年の干支は「子年」、繁栄の年とも言われています。阿蘇市の繁栄に向けた始まりの年となりますよう役割をしっかりと果たしてまいりますので、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆さま方にとって素晴らしい1年になりますことを心から祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

阿蘇市議会議長

湯浅 正司

